
話

炯々とおる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
話

【Nコード】
N8767Y

【作者名】
炯々とおる

【あらすじ】
シヨートシヨート・SS

ねえ、そんな事より聞いてくださいよ、僕の話。

いやですね、実は先週、仕事が終わって帰宅したんですよ、真夜中に。そうしたら、家のリビングに死体が転がってたんです。死体男の死体が。

もう本当にびっくりしまして。「うわ！ 何じゃこら!？」と叫んでしまいましたよ。真夜中なのにね、今思うとあの声は近所迷惑レベルの音量だったんじゃないかな。

まあとにかく、一体どうなっているのかを確認しようと思って、死体が転がっているリビングを入念に調べたら、なんか引きずった跡があるんですよ。床に。

で、僕は「ああ、誰かが引きずって置いたのかな？」と思った訳です。そうでしょうか？ だって地面には長々と血の跡がありましたし、フローリングには引きずった時に出来たと思われる傷もあったんですよ。

ねえ、本当に困りますよね。一体誰だか知りませんが、苦労して庭の地中に埋めたのに、リビングに引きずって置いたなんて、迷惑な話ですよ。そいつに向かって「お前何でそんな事をしたんだ？」って問い詰めたい気分ですよ。本当に。

結局、その日は徹夜して埋め戻す作業に追われましたよ。もうそれで肩が痛くて痛くて、リビングに置いた奴に肩を揉んでもらいたいですよ。まったく。あ、つまらない話でしたか？ すみません。

(後書き)

まあ、あんまり書いた事のない文体で書いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8767y/>

話

2011年11月26日11時54分発行